

調査概要

調査名 : 「2017年卒(大学生・大学院生)の採用活動振り返り調査」

調査目的 : 新卒採用に関する企業の活動実態を把握する

調査方法 : 郵送調査

調査時期 : 2016年12月18日～2017年1月25日

調査対象 : 全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,501社

回収社数 : 1,229社(回収率27.3%)

調査名 : 「外国人留学生・就業者の就職活動に関する調査」

調査目的 : 外国人留学生および元外国人留学生(現在就業者)の就職活動に関する状況を明らかにする

調査方法 : インターネット調査(調査票は、日本語および英語にて作成。どちらかを選択して回答)

調査時期 : 2017年3月24日～30日

調査対象 : 留学生・・・日本の大学・大学院に在籍し、就職活動を実施または実施予定の外国人留学生

就業者・・・日本の大学・大学院を卒業し、日本での就職活動経験者の現在日本で外国人就業者(元外国人留学生)

※調査協力: 株式会社クロス・マーケティング

サンプル数 : 留学生 286人 就業者(元外国人留学生) 100人

調査名 : 「企業へのヒアリング調査」

調査目的 : 新卒採用の状況について明らかにする

調査対象 : 新卒採用を実施している企業の人事

調査方法 : 半構造化インタビュー(対面または電話にて、各社30分～1時間)

調査時期 : 2016年7月～2017年3月

サンプル数 : 8社

調査名 : 「元外国人留学生へのヒアリング調査」

調査目的 : 元外国人留学生へ、就職活動前後の大学の支援状況や、就職活動時の状況等について明らかにする

調査対象 : 日本の大学または大学院を卒業/修了し、現在日本で就業している元外国人留学生(卒業/修了後3年以内)

調査方法 : 半構造化インタビュー(対面にて各人1.5時間)

調査時期 : 2016年9月～10月

サンプル数 : 10人

調査名 : 「大学へのヒアリング調査」

調査目的 : 就職活動に関する学生の状況や、外国人留学生に対する就職等の支援内容や就職状況について明らかにする

調査対象 : 大学キャリアセンターや外国人留学生支援を行っている教員・教職員

調査方法 : 半構造化インタビュー(対面にて各校1時間)

調査時期 : 2016年7月～2017年1月

サンプル数 : 7校

<用語の定義>

元外国人留学生 : 日本の大学または大学院を卒業/修了後、現在日本で就業している者。本データ集では「元留学生」とも表記している

留学生 : 現在、日本の大学または大学院に在籍している外国人学生

大学院卒 : 便宜上、「大学院修了」を「大学院卒」と表記しているところもある

《調査結果を見る際の注意点》

■ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

参考データ

「ワークス大卒求人倍率調査」リクルートワークス研究所

「Global Career Survey」リクルートワークス研究所(2013年)